

高齢者虐待防止

1. 虐待の本質的な背景

背景

虐待を受ける方の「約8割が認知症」

虐待している人に「虐待している」という自覚があるとは限らない

危険な要因

- ① 経済的な問題
- ② 近隣や家族との希薄な関係
- ③ 介護に関する知識不足

2. 虐待の種類別の背景と対策

① 身体的虐待

暴力行為

身体拘束：行動を拘束する行為

② 心理的虐待

言葉や態度で精神的な苦痛を与えること

例) 怒鳴る・無視する

③ 経済的虐待

人の財産を不当に処分したり侵奪すること

例) 使い込み・必要な介護を制限して利用させない

④ 介護放棄、放任（ネグレクト）

世話を放棄していることが「意図的であるか、意図的でないか」は判断には関係ない

家族を責めるのではなく、状況を冷静に見る

⑤ 性的虐待

例) 本人に性的な行為を行う・下半身を裸にして放置する

3. 介護者のストレスと危険要因

介護者はストレスに強いからと頑張りすぎず、家族や仲間と協力する。

経済的な問題、希薄な家族関係、介護に関する知識不足が危険要因となることがある。

介護者の支援を通じてこれらの要因を軽減できる方法を検討する。

4. 地域包括支援センターの役割

地域包括支援センターは、介護の負担を軽減するサービス情報に精通しており、相談に応じる。

行政の制度を活用して経済的な負担を軽減する対策を一緒に考える。